

秋の公民館講座

問い合わせ 公民館 緯35-0700 / FAX22-6924 (〒659-0068 業平町8-24)

- 【世界はニュースだけではわからない(時事経済解説)】 <全6回>
日時 10月22日～3月18日(土)午後2時～3時30分 会場 市民センター401室
定員 100人 内容・講師 「日本経済の展望 - 経済の見方」神戸大学教授・滝川好夫氏
2回以降のテーマ・講師は直前回にお知らせします 受講料 1,800円
- 【21世紀のエコロジー】 <全4回>
日時 10月29日～12月3日(土)午前10時～11時30分中心 会場 市民センター401室
ほか 定員 90人 内容・講師 「京都議定書はどこへ行く」神戸大学助教授・竹内憲司氏 / 「豊かで快適な暮らしを目指して」大阪ガス環境部職員・平山健次郎氏(関西電力・大飯原子力発電所PR館をバスで見学)ほか 受講料等 1,500円
- 【太平洋をとりまく国々と日本】 <全4回>
日時 11月14日～12月12日(月)午前10時～11時30分 会場 市民センター301室
定員 60人 内容・講師 「サハラから台湾、ミクロネシア地域の文化的広がり」と歴史・大阪大学教授・土岐哲氏 / 「南米大陸南端まで渡っていったモノクロイド」奈良大学教授・青木芳夫氏ほか 受講料 1,200円
- 【教育問題講座 - 心とからだをのびのび育てる子育て】 <全3回>
日時 11月7日～12月5日(月)午前10時～11時30分 会場 市民センター401室
定員 100人 内容・講師 「心とからだを育てる食育入門」キッチンスタジオ主宰・坂本廣子氏 / 「生きる力をどうつけるのか」兵庫教育大学教授・田中亨胤氏 / 「子どもの心を育てる子育て」湊川短期大学教授・三宅茂夫氏 託児 要予約
- 【考古学の魅力に迫る - 会下山遺跡から高松塚古墳へ...】 <全4回>
日時 11月4日～11月25日(金)午前10時～11時30分 会場 市民センター401室ほか
定員 60人 内容・講師 「縄文探検 - 民族考古学の試み」国立民族学博物館名誉教授・小山修三氏 / 「会下山の人々の見た弥生社会」市文化財担当職員・森岡秀人 / 「高松塚古墳の発見当時と今...」関西大学名誉教授・網干善教氏ほか 受講料 1,200円
- 【楽しく生きるための講座】 <全4回>
日時 10月27日～12月1日(木)午前10時～11時30分 会場 市民センター401室ほか
定員 60人 内容・講師 「食への楽しみ - NHK『わかば』の料理指導を通して...」辻学園・為後喜光氏 / 「あなたのストレスとります - プラス思考の心理学」心理カウンセラー・下口雄山氏 / 「歴史の謎に迫る - 義経伝説の謎」アメリカン大学客員教授・芝垣哲夫氏ほか 受講料 1,200円
- 【X P ノートパソコン活用講座】 <全4回>
日時 11月5日～12月10日(土)午前9時30分～11時30分 会場 市民センター217室
定員 X P ノートパソコンを持参できるかた16人 内容 ファイル管理、写真の取り込みと管理、インターネットの検索など 講師 片山綾子氏 受講料 2,000円

申し込み 往復はがきに(複数申し込み可) 講座名 住所 氏名 電話番号 年齢 性別を記入し、10月12日(水)<消印有効>までに上記へ。応募多数の場合抽選(市内在住優先) 受講料 初回に各講義室で。受講料は全回通し金額。受講料の返金はできません。 託児 1回300円。2歳児以上就学前の幼児。はがきに「託児希望」と記入してください。

公民館・子ども教室 楽しい催し

- 【古市景一先生と歩く芦屋川の自然ウォッチング】
日時 10月22日(土)午前9時30分～11時30分 集合 阪急芦屋川駅北側広場 対象 小学生(保護者同伴可)25人 内容 芦屋川の魚、植物、昆虫などの学習
- 【森茂子先生と楽しむ芦屋川周辺のスケッチ教室】
日時 10月29日(土)午前10時～正午 集合 ルナ・ホール前 対象 小学生(保護者同伴可)25人 内容 芦屋川周辺でスケッチを楽しむ
- 【科学手品 あなたも今日からマジシャン】
日時 11月12日(土)午前9時30分～11時30分 会場 市民センター203室 対象 小学生20人 内容 身近な材料でできる手品を学ぶ 材料費 500円
- 【世界に一つだけのオリジナルパズル】
日時 11月12日(土)午後1時30分～3時30分 会場 市民センター203室 対象 小学生(保護者同伴可)20人 内容 好きな写真をジグソーパズルに 材料費 200円
- 【てん刻教室】
日時 11月26日(土)午前9時30分～11時30分 会場 市民センター203室 対象 小学生(保護者同伴可)20人 内容 年賀状の干支の印を作る 材料費 600円
申し込み はがきかファクスで、教室名等必要事項を記入し10月13日(木)までに上記へ。

芦屋の人



撮影・桑田敬司(ハナヤ勲兵衛)

芦屋・アート・明日

橋本敏子

具体美術、ルナ・ホール、美術博物館、そして南芦屋浜。私にとって芦屋はアートで結ばれるキーワードで結ばれるまちだ。

今はなき具体美術に衝撃を受け、建築も舞台も先駆的だったルナ・ホールと、そこに集う人々に刺激を受け、友人たちとパフォーマンスを行ったこともあった。そんな芦屋が、いつの間にか「高級住宅地」としてしか語られなくなつたのはとても悲しい。私の好きな芦屋は、どこに行つたのだから。

そういう私自身、仕事に夢中になつている間に、楽しむ場も大阪や神戸に

移り、いつの間にか「寝に帰るだけの芦屋」になつていくことを実感させられたのが、あの震災だ。そんな時、南芦屋浜に建設される災害復興住宅の環境計画として、アートを導入する計画のプロデュースを頼まれた。それが、「だんだん畑」で全国的によく知られる「南芦屋浜コミュニティ&アート計画」である。

更地のままだった広大な埋立地にできる被災者のための団地。物心ともに傷つき、生きる力をなくした人々のために、どんな環境をつくつたらいいか。仕事として引き受けるということ

以前に、二十年以上もこの街に住んでいながら住民として何もしてこなかつたけれど、美術館を民間委託しな

たことに対する罪滅ぼしのような気持ちで取り組んだのが、このプロジェクトである。

計画から十年、団地ができてから八年が経過した今、団地の各所に創られたアート作品群を大事に扱っていた

いまも住民のかたがたのおつき合いが続いている。アート作品としてつくられた「だんだん畑」では作物がよく育ち、心安らぐ風景になつている。「芦屋だからできたんだよね」と言われるたびに、とても嬉しい。アートが身近にあることの豊かさが特別なことではないことを教えてくれたのは芦屋

ければならないという議論で揺れる芦屋はやはり悲しい。アートなまち・芦屋の再生を、多くの心ある人々が注目しているに違いない。私もできるだけお手伝いしたいと思つている。

橋本 敏子(はしもと としこ)氏 大阪市出身。同志社大学卒業後「都市・文化・アート」を結ぶ計画・プロジェクトをライフワークとして続けてきた。

代表的な仕事に、コミュニティ・シネマのある公共施設「ピレニアめぶ」(宝塚市)、南芦屋浜コミュニティ&アート計画(芦屋市)、アートプロジェクト「湊町アンダーグラウンドプロジェクト」(神戸市)ほかのプロデュースがある。現在、(株)生活環境文化研究所および(株)文化農場代表、龍谷大学社会学部教授。若葉町在住。

女性センター相談日

専門の相談員が相談に応じます
女性の悩み相談<要予約>
日時 毎週金曜日午後1時～4時
内容 夫婦・家族関係、心の悩みなど暴力(DV)に関する相談<要予約>
日時 10月12日(水)午後1時～4時
内容 夫や親しい関係にある男性からの暴力(DV)
相談予約電話 緯38-2022

公正証書相談・合同行政相談

公証人による「公正証書相談」
日時 10月11日(火)午後1時～4時
内容 遺言書・公正証書に関する相談
【公証週間：10月1日～7日】
行政相談委員等による合同行政相談
日時 10月19日(水)午後1時～4時
内容 行政に関する苦情・要望・意見等
会場 市役所北館2階会議室(2)
【行政相談週間：10月17日～23日】
問い合わせ お困りです課 緯38-5401

夜間(17:00～9:00)水道修理工事当番表【10月】

水道の修理は「芦屋市指定水道工事事業者」へ

店名	TEL	当番日
南大阪商会	32-6302	1、7、13、19、25、31
前忠工業株式会社	31-8548	2、15、21、27
(資)神明商会	22-3565	3、9、22、28
中央水道工務所	22-3552	4、10、16、29
原田商会	22-0706	5、11、17、23
越智商会	22-3708	6、12、18、24、30
西岡設備工業所	22-6900	8、14、20、26

問い合わせ水道部工務課維持担当 緯38-2083

阪神間の美術館・博物館をめぐるシャトルバス NAVETT-MUSEE

期日 11月3日(木・祝) コース 阪神芦屋/芦屋市立美術博物館/西宮市大谷記念美術館/白鹿記念酒造博物館(酒ミュージアム)/祿水苑/阪神西宮 申し込み 往復はがきに、氏名(ふりがな)・年齢・連絡先(郵便番号・住所・電話番号)・乗車人数・乗車希望場所・最初の希望時間帯(午前・午後・どちらでも)を記入し、10月22日(土)<必着>までに下記へ。参加証を送ります 定員 限定250人 費用 バス代無料(要入館料)

問い合わせ 美術博物館 緯38-5432(〒659-0052 伊勢町12-25)

エドワード・スタイケン ポートレイト展

会期・10月1日～11月6日 午前10時～午後5時(入館4時30分まで)

【ギャラリートーク】 日時 11月3日(木・祝) 午前11時 午後2時(要観覧券) 会場 美術博物館 内容 「スタイケンのポートレイトを読む」写真家・楓大介氏

【観覧料】一般500円(400円)、大高生400円(320円)、中小生無料*(20人以上の団体料金)